



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1ヵ月5343円+税
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2017

Jidosha
Next New Nikkan

8月31日
(木曜日)

NGP

CO₂削減数値化を拡充

新たに40部品を追加

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(佐藤幸雄理事長)は、リサイクル部品の二酸化炭素(CO₂)排出削減効果を数値化する独自システムを拡充する。既存の50部品に加え、新たに40部品を8月末にも追加し、NGPの主要売れ筋部品の9割を網羅する体制を整える。現在、要望が高いリビルト部品の研究を進めており、将来的には次世代車両への対応も視野に入れている。NGPはリサイクル部品の活用を通じて地球環境への貢献を継続的に強化していく考えだ。

CO₂の削減数値について
は明治大学や富山県立大学と
組み、産学協同研究として2
013年から進めてきた。16
年には研究成果の第一弾とし
て売れ筋上位50部品について
のCO₂削減数値を公表。部
品システムの見積書や納品
書、請求書などに印刷するな
ど、取引する整備事業者や損
害保険会社にも目に見える形
で提供し、リサイクル部品の
環境負荷低減効果を訴求して
きた。



昨年は学生も参加して素材別に重量を測定する調査を実施した

CO₂削減数値が公表できる
ことになる。来期以降は残り
数%の研究を進めるほか、リ
ビルト会社の協力を得て取り

組んでいるリビルト部品の削減効果を公表する計画だ。
中長期的には新素材やハイブリッドシステムといった次世代車両への対応も検討する。「これから重要になるであろう部品を先読みして研究を続けていく」(同)こと
で、リサイクル部品の利活用がCO₂の削減効果にとどまらず、多角的に地球環境問題の解決につながることを研究し、NGPとしての社会的貢献度合いを高めていく。